

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 岩田建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化している ・経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に伝えている ・方針・実行計画は末端まで周知されて、社員は理解をし、やりがいを感じている								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社内報や掲示板等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施している																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している ・取引先に対し、不当な圧力がないか、定期的にチェックしている										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・責任者(担当役員)、管理者を任命している。 ・企業行動指針のもと、「持続可能な社会=会社」を具現化する組織体制となっている																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標等知的財産権の管理をしている ・知的財産に関する研修や勉強会を行っている								8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している ・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・当社社員と協力会社の社員のコミュニケーションを密にして、ともに成長していく関係を構築している。(安全・技術・品質・環境・生産性の取り組みや、技術者不足解消に向けた協力等) ・地域の声(特に苦情)を大事にし、コミュニケーションをとるために定期的イベントを行っている																	16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動に関心を持ち、対話を通じ、人権侵害の防止や環境保護等の取り組み状況を確認している					5		8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・定期的に避難訓練を行っている ・【予定】令和4年3月までにBCPを策定する								9		11	13.1						16 17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる							8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5		8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスマント研修を実施している ・ハラスマント相談窓口を設置している ・採用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ISO45001を取得している ・朝礼にて安全確認を行っている。 ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている				5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、半日・時間単位で使用できる有給休暇制度の設置や有給休暇の取得奨励、テレワークを実施し、育児・ボランティア活動に積極的に参画できるなどの環境を整えている		3		5.5			8.5 8.8	10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職務や役割に応じた研修の整備を実施している ・研修費用の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している (1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士、その他)			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎日の朝礼時へ事故への注意喚起、健康状態を把握しあっている ・年1回の健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている ・40歳以上の従業員への人間ドック受診(5年に1度)への半額経費負担を行っている。		3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性管理職12.5%の活躍 ・定年後の高齢従業員の継続雇用に取り組んでいる			4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ZOOMを使ったウェブ会議を積極的に導入している ・対面での打ち合わせは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している ・テレワークを実施している		3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・事業戦略や経営計画等において、デジタル化の取り組みを位置付けている ・【予定】令和3年12月より、建設システムの導入・クラウドでの写真管理ソフト・タブレットなどの購入を予定している							8	9.1		11	12							
	21	【ブライ特企業】 ・ブライ特企業に認定されている。	●					3	4			8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 岩田建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置しているほか、事務所蛍光灯にはLEDを使用し、節電に取り組んでいる						7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している ・使用するガソリンなどの燃料や、電力・ガスの使用量を把握・記録している ・エコアイドルを実施している ・社用車転換の際にはエコカーを導入している		2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出・保護に取り組んでいる ・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている ・マイバッグ、マイボトルを持参する					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス会議の推進や業務システムの電子決裁化などによる用紙の節約等を行っている ・エコマーク商品の購入、再生資材等の使用、仮設材等の再使用 ・再生利用可能なものと有害物質を分別し、適正な処理を実施している							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している。 ・浄化槽の法定検査を受けている		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・ISO14001を取得している ・紙の購入量の削減、グリーン購入率の向上に向け、可能な限り取組んでいる。						9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社員に規格外の農林水産品や、廃棄直前の商品を購入するように呼び掛けている。	1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地域の緑化活動、ボランティアに参加している										11.6 11.7	13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光発電システムを本社の屋根に設置している ・日頃より節電に取り組んでいる。				7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・現場で出た廃材を、当社が指定管理をしている美里町のキャンプ場にて薪として再利用している。				6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・不知火海沿岸の清掃ボランティアに積極的に参加している									12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・工事で発生するCO2排出量削減に取り組むため、省燃費運転(アイドリングストップの励行等)、車両・重機の適正整備を行っている。				7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 岩田建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001を取得している ・法令に基づき、各現場ごとに現場管理計画書を策定、施工会議を実施し、製品・サービスの安全性を担保している			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・日ごろの業務の中で、ユニバーサルデザインに配慮した工法及び材料の提案を継続的に行い、環境整備に努めている。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地元地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・地域未来牽引企業に選定されている ・地元企業の積極的な活用 ・路盤材や合材等、地元産を使用している。 ・木材も出来るだけ地域材を使用している。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・災害復旧工事、突発的な道路維持修繕等の依頼に迅速に対応している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域未来牽引企業に選定されている ・地域との対話・イベントなどを実施し、対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い、改善に努めている ・地域の清掃活動に参加している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・自主防災組織と連携した避難訓練を実施している ・従業員にハザードマップを周知している ・会社にAED(自動体外式除細動器)を設置している ・【予定】令和4年3月までに、事業所に防災備蓄品を整備する。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・大規模灾害(地震・風水害)発生時に、被害の拡大防止と迅速な復旧活動をおこなう災害ボランティアの届出をしている。 ・令和3年10月に、従業員で救急法を受講済	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・災害による死者や被害者の削減のために防潮堤や堤防の公共工事を請け負っている。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社内でSDGsに関する研修を実施し、社員一人一人がSDGs普及啓発の担い手となることを企図し、全社員がSDGsを理解し実践できるよう理解度促進の施策を展開している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・地域の次世代を担う人材(学生・子ども等)との交流・育成の機会(学校への講演会)を行っている ・インターンシップを積極的に受け入れている。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・ふるさとまとも創造人材奨学金返還等サポート制度を活用している。 ・地元の学校に積極的に求人をかけている				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●	●		2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。